



ささえて、ささえられて

かかみがはら



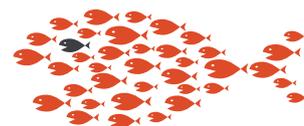
サポート君

2013年5月15日号 No.152



第3回市民福祉講座 演劇スイミーより

離ればなれにならないこと！
みんなが持ち場を守ること！



あしたの会共働学校の皆さんの迫力ある演技。

「協力しあうこと」「仲間への思いやり」を大切にすることを教えられます。



この広報紙には、皆さんの会費と赤い羽根共同募金が使われています。

各務原市社協ウェブサイト <http://www.kakamigahara-shakyo.jp/>

ささえて

ささえられて

みんなが主役の まちづくり

平成 25 年度 各務原市
社会福祉協議会事業計画 決まる!!

～ 重点事業 ～

- 住民が主体となり地域に根ざした支部社協活動の推進
- 近隣ケアグループを中心にした声かけと見守り活動の充実
- 身近な総合相談体制の構築と成年後見制度の啓発
- 社協活動を知ってもらうための情報発信
- 地域資源も活用した質の高い介護保険サービスの提供



ボランティア活動を推進します。



支部社協活動の充実を目指します。



近隣ケアグループ活動を支援します。



障がいの正しい理解を深めます。



ボランティアハウス事業の普及に努めます。



福祉を身近に感じられるイベントを開催します。



ファミリーサポート事業の利用促進に努めます。



質の高い介護保険サービスを提供します。



災害時のボランティア体制について取り組みます。



活動をご理解いただくための情報発信をおこないます。

地域における生活課題に向けて取り組みます。暮らし相談室「さぽーと」の開設(詳細は6P)。

年間活動予定表

※変更する場合があります。

月	行事
4月	点訳ボランティア養成講座(4/8~9/9 18回)
	社協支部長・福祉推進員合同会議(19日)
5月	理事会・評議員会(27日)
	広報「社協かかみがはら152号」発行(15日)
6月	精神障がいを理解する講座(6/8~7/4 4回)
	市民福祉講座-近隣ケアグループ全体研修会議(9日) お達者でクッキング(25日)
7月	手話奉仕員養成講座 基礎課程(7/11~12/19 23回)
	広報「社協かかみがはら153号」発行(15日)
8月	社協会員募集月間
	手話奉仕員養成講座 基礎課程(8/23~12/20 18回) 福祉フェスティバル2013(9日)
9月	岐阜県ボランティアフェスティバル'13(28日)
	支えあいサポーター塾の開催

月	行事
10月	共同募金運動月間(10/1~12/31)
	市民福祉講座-暮らしを守る権利擁護セミナー(5日)
	広報「社協かかみがはら154号」発行(15日) 理事会・評議員会
11月	第47回各務原市社会福祉大会(12日)
12月	歳末たすけあい運動月間
	市民福祉講座-ボランティアハウスのつどい(9日)
1月	第3期地域福祉活動計画策定始動
2月	広報「社協かかみがはら155号」発行(1日)
	社協支部長・福祉推進員合同会議
3月	ファミリーサポート交流会
	理事会・評議員会議

事業予算

総額 3億4536万7千円 (繰入金を除く)

詳細は社会福祉協議会のウェブサイトに掲載しております。
<http://www.kakamigahara-shakyo.jp/>
 トップページ⇒社協のすがた⇒事業・会計(計画・報告)からご覧
 になれます。

地域福祉活動に...	44,882千円
ボランティア活動に...	2,357千円
日常生活自立支援事業に...	4,647千円
貸付事業に...	51,135千円
川島園デイサービス事業に...	3,604千円
法人運営等人件費に...	64,808千円
地域包括支援センター事業に...	30,960千円
介護保険事業に...	142,974千円

ボランティアハウス紹介3

ボランティアハウス「ぬくもりの館」

ボランティアハウスぬくもりの館（代表：坂井英之さん 蘇原北部支部）は蘇原の古市場地区ふれあいセンターで4月8日にオープンしたできたてのハウスです。

みんなで一緒に健康体操を行い、その後はゆったりとコーヒータイムを楽しめます。簡単な体操なので自宅に帰っても一人でも繰り返しすることが出来ます。コーヒーとお菓子をいただきながら健康のこと、趣味のことなどゆったりとおしゃべりを楽しんでおられました。

閉じこもりがちな高齢者が無理なく、気軽に参加できる自由なハウスとして名のとおりぬくもりのある活動にしていきたいと代表の坂井さんは話しておられました。



ボランティアハウスは、歩いて行ける地域の公民館などに集い、仲間づくりの輪を広げる活動です。

平成25年度になり、3ヶ所のハウスが新設され、市内で78ヶ所で楽しい活動が行われています。

ボランティアハウス事業に関するお問い合わせは……

社会福祉協議会総務課

☎ 058-383-7610



福祉推進校の活動から

福祉推進校の各務原高等学校は、公園の清掃活動やボランティア新聞の発行、履かなくなった上靴をアフリカのコートジボワールへ贈る国際支援など、幅広い福祉・ボランティア活動を行っています。3月の暖かい土曜日の午後、近所のボランティアハウス「坂井・扇の会（蘇原北部支部）へ出向き、地元のお年寄りとの交流会を行いました。

この交流は、学校の文化祭に招待するなど2年前から続いており、この日を待ち望んだ参加者からは『か



わいい孫が来てくれた』と優しく出迎えられました。高校生たちは、歌遊びや風船バレーなど適度に運動もできるレクリエーションを準備し、お年寄りとともに楽しいひと時をすごしました。

おやつのでんごいのお手伝いも一緒に行いましたが、次々にストーブの上で膨らむお餅に慌てしてしまう女子高生と「手の皮が厚いから素手でも大丈夫なんだ。」と冷静にひっくり返すおじいさんとのやりとりは、とても微笑ましい光景でした。

若い世代がこうした地域の福祉活動に参加し、世代を超えた交流をすることは、相手を敬う気持ちや地域のつながりの大切さを学ぶ貴重な機会です。

●福祉推進校とは

各務原市社会福祉協議会では各小・中・高等学校を福祉推進校に指定し、ボランティア活動や社会福祉の理解と関心を深める活動に取り組んでいただいています。



新たな取り組みの紹介

●知的障がいサロン「みっばらクック」が始まる。

知的に障がいのある人とボランティアが楽しく交流するサロン「みっばらクック」（代表：大谷弘）が、中央ライフデザインセンター料理教室でスタートしました。

このサロンは、昨年度開催した「知的障がいを理解する講座」の多くの受講生がボランティアとして協力しています。一緒に楽しくおしゃべりをしながら調理し、美味しく食べることを目的とし、お子



さんからご年配の方までの幅広い参加により、サロンが進められています。

これまでにぎょうざ・白玉だんご・カレーライス・クレープといろいろな調理をしてきました。食べたいものをみんなで考え、隣接のスーパーに自分たちで買い物に行きます。そして、野菜を切る、粉をまぜる、盛り付けをすることなど、障がいがあってもいくら時間がかかっても一緒に力を合わせたりしながら積極的にチャレンジしてもらい、料理が完成します。

おいしい料理はあつという間になくなりますが、作り上げた達成感はいつまでも心に残り、サロンを通しての新しいつながりをもっと広がっていくことでしょう。



この「みっばらクック」は、毎月1回（主に第3土曜日の10〜12時）開催されます。参加希望の方は社会福祉協議会までお尋ねください。

社会福祉協議会総務課

☎ 058-383-7610





暮らし相談室「さぽーと」を開設しました。

家族形態の変化や地域の連帯感の希薄化などにより、身近に気軽に相談できる相手を求めにくくなっています。各務原市社会福祉協議会では、市民の皆さんが安心して生きがいのある生活を送ることができるよう、福祉に関するあらゆる相談に応じ、各関係機関の紹介など問題解決のお手伝いをします。

今回は生活福祉資金貸付事業についてご紹介します。

本事業は低所得者、高齢者世帯、障がい者世帯の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。お気軽にご相談ください。

☎ : 058-383-7610

E-mail : shakyo@chive.ocn.ne.jp

■生活福祉資金一覧表

資金の種類		貸付条件
総合支援資金	生活支援費	・生活再建までの間に必要な生活費用 (二人以上) 月 20 万円以内 (単身) 月 15 万円以内 ・貸付期間 : 3 月以内
	住宅入居費	・敷金、礼金等住宅の賃貸契約を結ぶために必要な費用 40 万円以内
	一時生活再建費	・生活を再建するために一時的に必要かつ日常生活費で賄うことが困難である費用 就職・転職を前提とした技能習得に要する経費 滞納している公共料金等の立て替え費用 債務整理をするために必要な経費 等 60 万円以内
福祉資金	福祉費	・生業を営むために必要な経費 ・技能習得に必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要な経費 ・住宅の増改築、補修等及び公営住宅の譲り受けに必要な経費 ・福祉用具等の購入に必要な経費 ・障害者用の自動車の購入に必要な経費 ・中国残留邦人等に係る国民年金保険料の追納に必要な経費 ・負傷又は疾病の療養に必要な経費及びその療養期間中の生計を維持するために必要な経費 ・介護サービス、障害者サービス等を受けるのに必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要な経費 ・災害を受けたことにより臨時に必要となる経費 ・冠婚葬祭に必要な経費 ・住居の移転等、給排水設備等の設置に必要な経費 ・就職、技能習得等の支度に必要な経費 ・その他日常生活上一時的に必要な経費 580 万円以内 ※資金の用途に応じて上限目安額を設定しています。
	緊急小口資金	・緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける少額の費用 10 万円以内
教育支援資金	教育支援費	・低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校に修学するために必要な経費 〈高校〉月 3.5 万円以内 〈高専〉月 6 万円以内 〈短大〉月 6 万円以内 〈大学〉月 6.5 万円以内
	就学支度費	・低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校への入学に際し必要な経費 50 万円以内
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	・低所得の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金 ・土地の評価額の 70% 程度 ・月 30 万円以内

同じ食べるなら楽しく。

お達者でクッキング

を開催



ひとりでの食事は食欲が出なかったり、食材の買い物や調理が面倒だったりすることはありませんか？仲間と、会話を楽しみながらゆっくり食べる食事は、心もからだも元気にしてくれます。

夏本番を迎える前に、おいしい旬のものを調理して食べましょう。

日時 6月25日(火) 午前10時～午後1時
会場 総合福祉会館 3階 料理室
対象 一人暮らしの高齢者・高齢者夫婦の方
参加費 材料費(500円)
定員 25名
協力 市食生活改善協議会
申込 社会福祉協議会 総務課

☎058-383-7610

手話ボランティアを目指す人のための講座

聴覚障がい者が日常使用しているコミュニケーションの方法の一つである手話を学ぶ講座です。講座を修了後も継続して活動して下さる方を募集します。

申込：社会福祉協議会 ☎ :058-383-7610

FAX:058-382-3233



講座名	対象	日時	会場	定員・参加費等
入門編	初めて手話を学ばれる方を対象とします。	8/23～12/20までの毎週金曜日 (全18回) 19:00～21:00	総合福祉会館 3階 集会室	定員40名 受講料1,200円
基礎編	入門課程を修了された方を対象とします。	7/11～12/19までの毎週木曜日 (8/15をのぞく全23回) 13:00～15:00	(那加桜町2-163)	定員40名 受講料1,470円



『ボランティアしたいけど、
なにができるかしら?』と
思っている人

収集ボランティアサロンへどうぞ!!

収集ボランティアサロンとは使用済み切手を切り取りをするボランティア活動です。手を動かしながら口も動かして(?!)、楽しく作業をしています。

今年度から作業する日にちを追加したので、ぜひ、ハサミを持ってボランティアルームにお立ち寄りください。

切手は収集家に買い取っていただき、その収益は各務原市のボランティア活動に使われます。

事業所の皆さまへ
使用済み切手(切り取らないもの)を集めています。
ご協力をお願いいたします。



月日(曜日)	
5月	17(金)
6月	3(月) 21(金)
7月	1(月) 19(金)
8月	5(月) 23(金)
9月	2(月) 20(金)
10月	7(月) 18(金)
11月	15(金) 25(月)
12月	2(月) 20(金)
1月	6(月) 17(金)
2月	3(月) 14(金)
3月	3(月) 20(木)
時間	10:00～12:00
場所	総合福祉会館2階 ボランティアルーム

精神障がいを理解する講座 を開催します

精神疾患や精神障がいは社会においても誤解や偏見があり、十分に理解されていないのが現状です。

この講座は、障がいを持つ人や関係者からのお話を聞きながら障がいを理解し、地域に支援者を増やすことを目的とします。

回数	日時 / 場所	内容等
1	5月30日(木) 13:30～15:30 総合福祉会館 集会室	【講義】・精神障がいとは ・疾患の種類 ・治療について クラブハウスゆうせんスタッフ 【発表】本人の立場から
	6月8日(土) 13:30～16:00 中央図書館4階 多目的ホール	【講演】「一人ぼっちになるまえに・・・」 地域でくらす・地域で生きる 成年後見制度を知ってみよう 司法書士 青木文子氏 【発表】家族の立場から
3	6月20日(木) 13:30～15:30 総合福祉会館 集会室	【講義】聴くということ 公益社団法人 岐阜病院 臨床心理課 主任 臨床心理士 橋本 哲也氏 【発表】家族会の立場から
	7月4日(木) 13:30～15:30 総合福祉会館 集会室	【発表】舟伏(施設)の活動について 【発表】「クラブハウスゆうせん」の活動 【発表】ボランティアとしての関わり

定員 40名 受講料 無料
申込 社会福祉協議会総務課 ☎058-383-7610

善意のご寄付をいただき 誠にありがとうございました

敬称略 順不同 平成24年12月11日～平成25年3月31日

【金 銭】	
匿名	1,864円
匿名	30,000円
KYB労働組合	30,000円
ホットガールズ	10,286円
JAぎふ女性部 漬物菜時記	19,539円
ひばり体操クラブ	22,484円
岐阜県中古自動車販売商工組合	52,535円
中濃支部各務原ブロック	
めんばあずジュン	20,915円
匿名	50,000円
各務原市弓道協会チャリ ティー年末50射会	17,442円
匿名	14,658円
匿名	7,077円
各務原商工会女性会	20,000円
波多野耕三	9,000円
ぎふ農業協同組合	176,065円
外山貴一&ホワイトパール	38,306円
ジェット株式会社	100,000円
匿名	400円
宇野巳代治	5,057円
堀口秀雄	20,000円
小さな善意で大きな愛の輪運動	
ユニー(株) アピタ各務原店	79,107円
ユニー(株) ピアゴ各務原店	14,499円
ユニー(株) ユーホーム各務原店	15,572円
匿名	4,709円
各務原カラオケ同好会	22,380円
前田五十子	20,210円
かかみがはらキルト展 カフェすずらん	6,700円
ぎふしん愛の募金事務局	50,000円

第1回市民福祉講座の開催

社会福祉協議会では、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちを目指しています。

このたび、「第30回健康のつどい」と共催して「人と人のささえ合い」をテーマに市民福祉講座を開催いたします。

第1部として近隣ケアグループの活動についての説明を行い、第2部は宮田和子氏(東海中央病院心療内科医師)と日下部元雄氏(ロンドン大学UCL校客員教授、オープン・シティー研究所(東京)代表)を迎えて講演会をおこないます。

地域のささえ合い活動に興味のある方の参加をお待ちしております。

日 時 6月9日(日)

午後1時30分～4時

会 場 各務原市民会館(蘇原中央町)

その他 入場は無料です。

問合せ 社会福祉協議会総務課

☎058-383-7610



還暦を迎えた。還暦は干支(十干十二支)が一巡し、生まれた年に戻る。

世の中うまくできている。一般に、満六十歳を定年として現役を引退し、還暦を第二の人生の出発として祝う。

自分が還暦を迎えた実感はないが、改めて六十年の人生を総括して、これからの新たな人生を考える今日この頃である。

いままで、当たり前のように社会のしくみのルールの上を歩んできて、そのルールを外れ、人生二巡目に向かって、これから社会に対して自分に何ができるのか。一期一会を大切に地域のために恩返しつた。

「還暦に夢も学びも新たに」

五藤 龍彦